



たかまる けいいち  
高丸 圭一

職 名 教授

担当科目 情報基礎論, 情報システム論,  
情報処理応用, データベース概論

- 研究テーマ**
- 栃木方言の実態に関する研究に従事している。特に近年は、音声情報処理技術を応用したイントネーションの分析, および, 方言語彙の残存に関する統計的分析を進めている。
  - 自然言語処理の学際的応用(裁判員支援のための刑事裁判判決文の可視化, 地方議会会議録からの議員活動抽出など)の共同研究に参加している。

**研究業績**

<b>著 書</b>	2022年3月	木村泰知編『自治体DXの推進とオープンデータの活用』, 分担執筆:第5章「オープンデータとしての地方議会会議録」, 第7章「地方議会会議録コーパスの研究利用」, ISBN:978-4818826052
	2018年5月	小林隆編『感性の方言学』, 分担執筆:第6章「地方議会におけるオノマトペの使用分布」, ISBN:978-4894768987
<b>論 文</b>	2020年2月	乙武北斗, 内田ゆず, 高丸圭一, 木村泰知:“BERTによる周辺文脈を考慮したオノマトペの語義分類手法の提案”知能と情報, 32(1), pp. 518-522
	2019年4月	内田ゆず, 高丸圭一, 乙武北斗, 木村泰知:“対数尤度比と政治語彙度を用いた議員の議会活動の可視化”知能と情報, 31(2), pp.662-671
	2018年3月	Hokuto Ototake, Hiroki Sakaji, Keiichi Takamaru, Akio Kobayashi, Yuzu Uchida, Yasutomo Kimura : “Web-based system for Japanese local political documents” International Journal of Web Information Systems, Vol. 14 Issue: 3, pp.357-371
<b>国際会議</b>	2020年5月	Keiichi Takamaru et al.:“Extraction of the Argument Structure of Tokyo Metropolitan Assembly Minutes: Segmentation of Question-and-Answer Sets”, Proceedings of The 12th Language Resources and Evaluation Conference (LREC2020), pp.2064-2068
	2019年8月	Yasutomo Kimura, Hideyuki Shibuki, Hokuto Ototake, Yuzu Uchida, Keiichi Takamaru et al. : “Influence of Classifiers and Encoders on Argument Classification in Japanese Assembly Minutes”, The fifth Linguistic and Cognitive Approaches to Dialog Agents Workshop, Macau
<b>学会発表</b>	2020年9月	高丸圭一:“テキストデータの公開による実現可能な応用技術に向けたタスク設計”2020年度社会情報学会大会ワークショップ
	2020年6月	高丸 圭一他:“東京都議会会議録における議案への賛否を表明する発言の分析”第34回人工知能学会全国大会, 4Q3-GS-9-01
<b>※上記を含め, 論文32件, 国際会議発表23件, 国内学会等発表72件 (共著を含む)</b>		
<b>外部競争的資金の受入</b>	2021年4月	科学研究費基盤研究(B), 研究分担者「地方議会における非構造化データと構造化データの有機的な連結に関する研究」No. 21H03769, 研究代表者:木村泰知
	2021年4月	科学研究費基盤研究(C), 研究分担者「現代日本語オノマトペの語義とコロケーションに基づくオノマトペ実用辞書の構築研究課題」No. 21K12584, 研究代表者:内田ゆず
	2020年4月	科学研究費基盤研究(C), 研究代表者「国会会議録コーパスと地方議会会議録コーパスを横断した言語的分析」No.20K00576
	2020年4月	科学研究費基盤研究(C), 研究分担者「公用語の発展的理論と実証調査」No.20K00642, 研究代表者:井上史雄
<b>受 賞</b>	2019年3月	アーバンデータチャレンジ2018データ部門銀賞, 一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会
	2012年6月	人工知能学会2011年度論文賞「地方議員マッチングシステムにおける能動的質問のための質問生成手法」(共著)

**略 歴**

1998年3月	北海道大学工学部電子工学科 卒業
2000年3月	北海道大学大学院工学研究科電子情報工学専攻修士課程 修了, 修士(工学)
2004年3月	北海道大学大学院工学研究科電子情報工学専攻博士後期課程 単位修得退学
2004年4月	那須大学都市経済学部専任講師
2012年3月	博士(応用言語学) 『無アクセント地域の方言イントネーションに関する研究』
2013年4月	宇都宮共和大学シティライフ学部准教授
2018年4月	宇都宮共和大学シティライフ学部 教授(～現在に至る)

**所属学会** 電子情報通信学会, 日本音声学会(広報委員), 社会言語科学会(編集委員), 日本語学会, 人工知能学会  
**自己アピール** 高丸研究室ウェブサイトをご覧ください。 <http://www.takamaruzemi.com/>